

# 釣れ釣れなるままに

1995年思い出の釣行記 PART. 4

# 庶野漁港ルーラン

岩見沢釣遊会

## 鹿島釣狂

### 釣遊会第4回大会

☆開催日	平成7年7月16日
☆開催場所	岬漁港～庶野漁港
☆入釣場所	庶野漁港→ルーラン
☆潮	干潮 23:35 80cm
	満潮 04:46 138cm
	干潮 11:51 20cm
☆天候	晴れ 風なし
☆釣果	アブラコ 320 mm 1
	ハゴトコ 280 mm 7
	キュウリ 220 mm 1
	重量 1400g
☆成績	点数 460点
	順位 22位

6年PTA学年行事学校キャンプを15日から24日に変更して大会に参加する。14:00からあけぼの会論文学習があるため、前日にエサ等の準備を整えた。道新木曜夕刊の釣り覧はよい情報はない。名人会の佐々木忠良氏も33cmのアブラコが最長だという。清田氏もだめ出しをする。

今回は、初めての釣り場範囲でもあり、庶野漁港でアカハラかカンカイをとり、西庶野

に戻ることにする。終点でバスを降り、庶野漁港でアカハラを狙いでアタリを待つ。間もなく小さなアタリで上がってきたのはキュウリウオ。よしよし、22cm程だがこれで1魚種は確保した。アカハラはと待つが来ない。キュウリ2尾目を釣ったところで西庶野に向かう。途中、漁港中間部で田中、広田、渡邊氏など長老たちの様子を伺う。田中氏は33cmほどのカンカイを釣りあげている。カンカイもあるぞと悩むが、先へ急ぐ。1.5km程歩くと、広い舟揚場があり、そこで荷を下ろす。ゴミがすごく寄っている。何度打ち返してもゴミの山である。どこも同じようなものかとゴミと格闘していると、アブラコ32cmが釣れる。ハゴトコも来て2魚種5尾はそろった。しかし、大きいのが来ない。締め切り時間となり戻る。途中、荻野氏、清田氏と出会う。

審査では皆パツとしない。10位ぐらいには入るだろう。しかし、しかしである。審査用紙にキュウリの欄がない。欄外に書き添えられたが、身長を審査している吉井氏がキュウリは対象外ではないかと宣う。鱗がない魚は審査対象外だというのだ。キュウリはビカビカに鱗が付いているが、大会規定によって除外されている。吉井氏が「ごめん」と手のひらを顔の前に出すが、規定なのでは仕方がない。

しかし、途中、長老会のみなさんや荻野氏、清田氏にも会って、キュウリの嫁さんのことを話していたのだが誰もこの規定については触れていなかったのは何故だろう？